

ながのご縁を  信都・長野市

市民に開かれた議会をめざして

～令和4年度市民と議会の意見交換会を開催～

長野市議会では、市民に開かれた議会をめざして、平成25年度から議会報告会を開催し、29年度からは、市民の意見を取り入れ、より開かれた議会とするため、報告会形式から意見交換会形式で開催しています。

5月21日に開催した本年度の意見交換会は、新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となり、感染拡大防止のため、オンライン参加と対面参加のハイブリッド方式で実施しました。

当日は人数制限の中、オンライン参加の13名を含む52名の皆様にご参加いただき、活発な議論が行われました。

いただいた意見を今後の調査の参考にさせていただくとともに、これからも、市民により身近な議会、開かれた議会となるよう取り組んでまいります。

ながの だより 市議会

令和4年
6月定例会
NO.119

■主な内容

- ◆審議された議案等……………2～3
- ◆市政に関する質問の要旨…4～9
- ◆常任・特別委員会のうごき…10～11
- ◆市民と議会の意見交換会…裏表紙



ポアルス長野フットサルクラブ 8月のホームゲーム Y.S.C.C.横浜戦 8/21(日)14時30分、キックオフ
8月21日は長野市ホームタウンデー！ホワイトリングへ応援に行こう！

市議会定例会

会期
6月9日
6月24日

6月市議会定例会が6月9日から24日までの十六日間の会期で開かれ、令和4年度一般会計補正予算などの議案を審議し、いずれも原案とおり可決しました（3頁参照）。補正予算など主な議案の概要について紹介します。

補正予算の内容

6月定例会で決定した一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれに五十六億六千四百二十四万五千円を追加し、一般会計予算総額は一千六百七十九億三千四百二十四万五千円となりました。

主な内容は次のとおりです。

◆新型コロナウイルス感染症対策関連

子育て世帯生活支援特別給付金

低所得の子育て世帯に対する「子育て世帯生活支援特別給付金」の支給に要する経費が追加されました。

（三億六、一四二万四千円）

市民税非課税世帯等臨時特別給付金

令和4年度新たに市民税非課税となった世帯に対する「臨時特別給付金」の支給に要する経費が追加され

ました。（五億五、五二七万七千円）

プレミアム商品券事業

コロナ禍における原油価格・物価高騰の影響で落ち込む市内経済の活性化の加速とさらなる消費拡大を図るため、プレミアム付き商品券発行冊数を増刷する経費が追加されました。（四三億三、七五〇万円）

小売・サービス押し店プラチナチケット事業

飲食押し店に加え、市内小売店・サービス事業者等を対象とするための押し店プレミアム付きチケット販売等に要する経費が追加されました。

（二億八、〇〇〇万円）

◆その他

GIGAスクール通信費支援事業

GIGAスクール構想による家庭



GIGAスクール構想におけるタブレット端末を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をめざす

学習の実施に伴い、就学援助受給世帯等への通信費支援に要する経費が追加されました。（二、六五六万五千円）

放課後子ども総合プラン運営 新法人設立準備補助金

放課後子ども総合プラン事業の新たな運営主体の設立準備会に対し、その活動経費を補助するための経費が追加されました。（二、六三万二千円）

主な議案の内容

長野市市税条例等の一部改正

個人市民税の住宅ローン控除適用期限の一部延長等、令和4年度税制改正に伴う地方税法の一部改正に伴

い、改正されました。

工事請負契約の締結

資源再生センター基幹整備工事、鍋屋田小学校屋内運動場長寿命化改修建築工事、長野市障害者福祉センター長寿命化（大規模）改修建築工事、国補長沼保育園建設建築主体工事施行のため、それぞれ相手方と工事請負契約が締結されました。



建設から40年が経過し、今年度、長寿命化工事を施行する長野市障害者福祉センター

人事案に同意

副市長に松山大貴氏（東京都中央区）を選任すること、固定資産評価審査委員会委員に高橋伸治氏（松代町柴）を選任することに、それぞれ同意しました。



6月定例会 審議結果一覧

※○=賛成×=反対 ※議案名等の「長野市」「～について」等は一部省略して表記しています。

Main table containing 14 items of proposals, 30 items of reports, and 6 items of petitions, with columns for item name, council member support status, and decision status.

Table listing council members by party affiliation, including party names, member counts, and individual member names.

質問の要旨

6月定例会本会議では二十一人の議員が質問に立ち、市当局と活発な論議を展開しました。その中から主な質問の要旨を紹介いたします。
なお、この文章は、基本的に質問議員自ら作成しており、行数は発言時間に比例しています。

個人質問

新友会 手塚 秀樹

問 コロナ禍の影響を受けている事業者を下支えする支援をすべきでは

商工観光部長 飲食と小売、サービ



入業を合わせた押し店プラチナチケット事業の販売総額十二億円強と、プレミアム付き商品券事業の発行総額七十二億円を、7月からの七カ月間で集中的に市内に環流させる。

問 公共施設マネジメントでは施設を減らすことに焦点が向いているのではないか。将来の財政負担の抑制、健全財政の維持が本来の趣旨では

総務部長 資材価格の上昇等で単年度に発注できる工事量の上乗せは非常に厳しく、全体的な計画の見直しも必要かもしれない。同種の施設では利用状況等を踏まえ、利用できる必要な施設総量をできるだけ確保しながら、段階的に集約を図っていく。

問 信州大学新学部誘致の見通しは

市長 長野圏域に設置することが大学や学生にとってベストであると提案した。学内の幅広い関係者で議論されることを期待する。具体的な話があれば政策的な判断のもとに最大限の支援を行いたい。

問 犯罪被害者支援の条例制定は

地域・市民生活部長 市としての支援政策のあり方を検証し、県内市町村等の状況を注視しながら研究する。

共産党 滝沢 真一

問 急激な物価高騰が暮らしを直撃している。市独自の緊急の支援策が必要。市民税非課税世帯への特別給付金は対象をさらに拡大すべきでは

保健福祉部長 地方創生臨時交付金を活用した支援が可能とされていることから、調査、研究したい。

問 学生生活にも影響が及んでいる。食料支援、生活支援を行っては

保健福祉部長 まいさば長野市で実施している生活困窮者への食料、生活必需品支援は大学生等も対象となる。大学等の協力を得て、周知する。



まいさば長野市で提供している生活困窮者への支援物資

問 物価高騰に苦しむ事業所に家賃補助などの事業継続支援が必要では

商工観光部長 市単独で家賃支援のような大規模な給付を行うことは、困難な面がある。本市では地域内の消費を喚起することでお金を回し、経済を活性化していくことが重要。様々な消費喚起策を組み合わせ、7月から年末年始まで切れ目なく大規模に実施することで支援につなげる。

問 家賃補助は以前行つたではないか。もう一度行つては

商工観光部長 今回はプレミアム付き商品券や押し店プラチナチケットにより、経営の基礎的な力をつけてもらい、安定した経営を進めていくことで事業継続につながると考える。

改革ネット 塩入 学

問 子育て支援日本一実現の決意は

市長 子育て環境や暮らしが快適だと感じられる取り組みを進めていく。特に子育て支援はさらに充実させる。

問 こども総合支援センターへの相談等にスピード感をもって対応するための庁内情報共有のシステムは



こども総合支援センターグランドオープンの様子
(令和4年5月)

こども未来部長 相談はワンストップで内容に応じた庁内連携で迅速に対応。今後関係相談支援機関とのリモート相談にタブレットを配備する。

問 子どもの医療費の窓口無料化は
保健福祉部長 子育て支援の観点から重要と認識。速やかに検討したい。

問 丹波島橋の渋滞解消のため、新橋検討の具現化に向けた動きがいまだ見えない。納得のいく説明を

都市整備部長 新橋建設も渋滞解消の施策の一つと認識しているが、現在、渋滞解消に向けた具体的な事業が進んでおり、それらの効果を検証しながら、慎重に検討していきたい。



食育の日の献立。西山の淡竹や市内産・県内産の食材を使い、郷土の味を伝える

問 小・中学校の給食費の無料化は

教育次長 財源が就学援助費と生活保護費を除き十四億七千万円必要。継続的な財源確保が困難と認識する。

公明党 堀内 伸悟

問 本市でも早急にひきこもり支援の機能強化やひきこもり地域支援センターの設置が求められているが

保健福祉部長 県の地域支援センターと連携を図りつつ、ひきこもり支援の機能強化に努めていきたい。

問 給食の地元産食材の使用は農業振興や食育等からも有用と考えるが

教育次長 引き続き、地元産農産物の活用を推進していく。

問 物価高騰に伴う給食費等の負担を軽減し、支援すべきと考えるが

教育次長 新たな負担をかけぬよう臨時交付金の活用を検討している。

無所属 小林 史子

問 長野市では子どもの最善の利益を実現できているか。松本市のように、子どもの権利を守るための条例をつくり、子どもの権利を守る仕組みを整備することが必要ではないか

市長 長野市の未来を担う子どもの支援に関する条例により、県内全体で子どもの支援を総合的に推進し、子どもの最善の利益を実現できている。県と基礎自治体がお互いの特性を生かして適切な役割を果たしながら、未来の長野市の主役である子どもたちの権利を守っていきたい。

新友会 グレート無茶

問 学校では、SNS上のトラブルにどのように対応しているのか

教育次長 不適切な画像等は速やかに削除する等の措置をとる。行為に

至った理由や気持ちをその子に寄り添って聞き取り、被害者には心理面での見守りを丁寧に行う。

問 中心市街地活性化の取り組みは
市長 幅広く意見を聴き、まちづくりの将来像を共有して取り組む。

問 コロナ禍後の事業者への支援は
商工観光部長 お金だけではなく支援策、仕掛けを工夫して実施する。

問 プロ以外のスポーツへの支援は
文化スポーツ振興部長 団体の運営基盤強化の取り組みを支援していく。

問 誰もができる観光PRについて
商工観光部長 おもてなしの心を育み、オール長野で観光客を迎えたい。

公明党 松井 英雄

問 国の女性デジタル人材育成プランでは、今後三年間で集中的に育成に取り組むとのこと。本市も女性デジタル人材の雇用を創出すべきでは

商工観光部長 デジタル技術習得メニューの拡充やIT関連企業への就労支援など、関係部局と連携し、積極的に取り組む。

問 本市の産後ケア事業において、訪問事業も導入すべきと考えるが

保健所長 助産所や助産師などの関係者から意見を聴き、訪問型産後ケア事業の導入を検討する。

新友会 市川 和彦

問 エムウエーブ南産業用地に農産物加工直販施設や小規模なマルシェの立地を、との地権者の声があるが

商工観光部長 商業系の施設を求める声も承知している。工業系の産業用地という基本的な土地利用を妨げない範囲で、個別に事業内容を説明しながら合意形成を図っていく。

問 市の調査では、困窮家庭の割合が九・八％。子どもの貧困対策は

こども未来部長 切実な貧困家庭の状況、課題を改めて整理し、子どもの貧困対策計画を今年度中に策定する。苦境に立つ子どもや保護者を支え、安心して暮らせる社会の実現をめざしたい。

問 教員の水泳指導とプール管理の民間委託を提案するが

教育次長 民間の水泳授業は専門的



屋内プール施設で、インストラクターによる専門的な指導が受けられる「長野市版 新たな水泳学習」

指導が期待できる。次年度以降新しい水泳学習へ移行する学校を選定し、条件が整った学校から順次移行する。

問 消防職員の定年延長、人員管理をどのように取り組んでいくのか

副市長 消防職員の年齢バランスに大きな不均衡があり、対応を検討している。独自のキャリアを歩んでいるので、その能力が十分に発揮できる環境を構築するよう取り組む。

新友会 北澤 哲也

問 小・中学校連携の点からも、同一敷地内に小・中学校を複合化して建設していくことが重要ではないか

教育長 保護者や地域と合意形成を図りつつ、スピード感をもって、ソフト、ハードの両面から豊かな教育環境の構築に向けて取り組んでいく。

問 蔵春閣の取り壊しの計画は。併設され老朽化した城山公民館も併せて取り壊したほうがよいと考えるが

教育次長 蔵春閣の取り壊しはスケジュール等を示せない状況。城山公民館は生涯学習の場であるので、移設など課題の調整を進め、理解を得ながら整備等について協議していく。



城山公園再整備基本構想にある「交流の丘ゾーン」の整備と併せ、取り壊しを計画している蔵春閣

危機管理防災監 できる限り最大限の実施をめざして取り組んでいく。

※スフィア基準…災害や紛争の影響を受けた人々が、尊厳ある生活を送り、支援を受けることを目的に定められた国際基準。人命維持のために必要不可欠な、給水・衛生、食料の安全保障と栄養、避難所及び避難先の居住地、保健医療の各分野における最低基準を定めている。

問 健全な中山間地あつての長野市と考える。市長の中山間地政策は

市長 住民の声をしっかり聴き、実情に応じた対応を検討していく。

問 民間事業者が廃棄物処理工場の移転を計画している。広い範囲を対象にした説明会を求める声があるが

環境部長 対象範囲を拡大した説明会の開催を働きかけることも可能。

問 旧清掃センターで見つかった埋設廃棄物の全量撤去への工程は

市長 今年度は試掘調査を行う。内容や割合を把握して工法を含めた検討ができ、必要な期間も判明する。

改革ネット 鎌倉 希旭

問 EE電について、市民と事業者間の契約や料金プラン等の事業概要の情報が見えにくいのはなぜか。な

共産党 竹内 茂

問 災害避難所は国際基準「スフィア基準」をめざすべきと考えるが

ぜ市は広報のみ関与しているのか

環境部長 電力販売事業者が提供する料金プランは一般向けではなく、本市における企業努力によるもので公開となっていない。事業のアイデア自体が実施事業者のもので、本市が直接実施困難な作業を支出なく行えるため、広報の役割を担当した。

※E.E電：地域の家庭等における再生可能エネルギー由来電力の利用促進及び温室効果ガスの排出抑制のために、電力切り替え需要を取りまとめ一括発注することでスケールメリットを生かし、低価格で低炭素な電力への切り替えを促す取り組みのこと。

問 バイオマス活用自治体新電力会社が調達した電気の活用は

新産業創造推進局長 想定するバイオマス発電量に応じた公共施設への電力供給を行うことを検討。

問 (仮称)ながのこども館トイレへのユニバーサルシートの導入は

都市整備部長 既存建物の条件内では、多目的トイレのスペースに大人数用大型ベッドを設置するのは困難。

新友会 加藤 英夫

問 農業予算を上積みするべきでは

財政部長 農業関連事業は、担当部局から話を聴きながら対応する。

問 食料安全保障が叫ばれる中、物価高騰に窮した農家への対策は

農林部長 地方創生臨時交付金の活用を視野に、J.Aと意見交換しながら必要な施策を検討する。

問 バイオブリケット事業のため剪定枝・もみ殻の買取制度が必要では

新産業創造推進局長 買取を含め、サプライチェーンの整備を検討する。

※バイオブリケット(化)事業：木質バイオマスなどを破碎、乾燥、成型し、固形燃料(バイオブリケット)として、石炭コークス等の代替に利用する事業のこと。
※サプライチェーン：原料調達から製造、物流、販売までの一連の流れのこと。

問 りんごの消費拡大につながるイベント、りんごサミットの開催を

農林部長 長野市産果樹の販路拡大、ブランド浸透戦略における検討も視野に入れ、効果等を情報収集する。

公明党 小林 秀子

問 本市の子どもの生活実態調査でもヤングケアラーの存在が浮き彫り



子どもの生活状況に関する実態調査報告書と分析結果の概要は、市HPに掲載されている

になった。支援への対応は

こども未来部長 大きな課題と受け止めている。相談窓口の設置や気持ちに寄り添った支援施策等を進める。

問 保育園でのおむつの取り扱いについて、サブスクに取り組み持参をやめたり、持ち帰りを廃止する自治体も増えている。本市も検討すべき

こども未来部長 サブスクは当面導入する予定はないが、持ち帰りについては先進事例を参考に検討したい。

※サブスク：サブスクリプションの略。定額料金を支払うことで、一定の期間、製品やサービスを利用することができるビジネスモデルのこと。

新友会 和田 一成

問 コロナ禍における原油価格・物価高騰で、多くの事業者が経営内容の悪化を懸念。集客促進や消費喚起に加え、他の支援施策の検討状況は

商工観光部長 県や商工団体等関係機関と連携し、資金繰り支援や中長期的視点に立った経営相談への対応など、経営継続に必要な資金の貸し付け、融資面の支援等を行っている。

問 空き家バンクの充実策として、家賃補助による一年間お試し移住プランを検討してはどうか

企画政策部長 地区が移住お試し施設を設置する場合などに、モデル的に支援する方法等を含め、検討する。



空き家バンクサイトは、空き家を貸したい人や売りたい人が登録し、長野市が情報を提供するサービス。日々更新され、現在約50の物件を公開している

無所属 小泉 一真

問 北八幡川治水対策の状況は

建設部長 流下の支障となる橋は、架け替え等を実施する予定。インターネット上から水位を確認できる危機管理型水位計を今年度設置する。
農林部長 分水ゲート作動を柳原排水機場に通報する装置について、設置を前向きに検討する。

問 奥裾花自然園ではミズバショウの分布が減っている。調査を

市長 地元の意見を聴きつつ、調査方法を検討したい。



国内有数の規模を誇るミズバショウが開いた奥裾花自然園

新友会 青木 敏明

問 通学路の交通安全対策の現況は

建設部長 長野市通学路交通安全・防犯対策プログラムに基づき関係部局と連携し、平成24年から合同点検を実施、効果的な安全対策を検討している。対策必要数は二百七十二カ所、対策済み百七十七カ所、対策実施中二十カ所。千葉県八街市の事故を受け、昨年9月に六十六カ所の合同点検を実施。令和4年度末までに五十七カ所で対策が完了する見込み。

問 歩道整備以外に安全対策がないものを要抜本対策としているが、今後の抜本対策の方針と見通しは

建設部長 市道では、用地買収を伴う歩道整備が必要な箇所は八カ所。今年度からは交通安全対策補助金制度を活用し、七カ所については令和8年度までの整備完了をめざす。残り一カ所についても交渉を継続し、事業の前進に努め、子どもたちの通学路の安全確保に取り組む。

改革ネット 布目裕喜雄

問 策定中の市地域公共交通計画は



七二会地区内を運行する乗合タクシー「新じんば号」

公共交通分野の最上位計画となる。公共交通を軸としたまちづくり、利用しやすい公共交通の再構築に向け、現計画をどうアップデートするのか

企画政策部長 高齢者人口の増加により交通不便者が増えることから、広い市域で公共交通を維持していく必要がある。利便性や効率性の高い公共交通の検討を進めるとともに、利用増進を図る取り組みに努める。

問 中心市街地活性化に七百十八億円余を投入してきているが、同工リアの固定資産税等の収税はほぼ横ばいで、収税面からみると特段の効果を上げているとはいえない。集中的な投資が税として還流され、市民に理解されることが重要。収税面からの検証について認識と対応を伺う

財政部長 中心市街地活性化事業の成果を収税で評価することは難しい面もあるが、提案を参考に研究する。

新友会 金沢 敦志

問 信州大学新設学部誘致で財政支援や中心市街地への設置はどうか

企画政策部長 財政支援は、過去の他大学への支援実績等を踏まえ、協力する。校舎の場所は、中心市街地への希望があれば最大限協力する。

問 高齢化に伴い、難聴者の補聴器購入への助成が必要では

保健福祉部長 財政負担などを勘案する必要があるが、医師会と協議し、調査・研究を進めていきたい。

問 長野運動公園総合体育館改修で



昭和53（1978）年に竣工した長野運動公園総合体育館

防災・バリアフリー機能が必要では

文化スポーツ振興部長 避難所にも有効活用できる設備を検討し、ユニバーサルデザインにも十分配慮する。

公明党 **勝山 秀夫**

問 HSCの児童・生徒が安心して学校生活を送れるよう、また、保護者が安心して子育てができるよう、学校現場でHSCに関する周知と教員の質の向上が重要と考えるが

教育次長 全教職員がHSCの正しい理解をもって子どもたちに適切な配慮ができるよう、二年前から研修などで積極的に情報提供を実施する。

※HSC…High Sensitive Childの略
人一倍、音や匂いに敏感な気質をもつ子どものこと。

問 市民の健康を守るといふ観点から、带状疱疹ワクチン接種に助成をすべきと考えるが

保健所長 国の動向などを注視しながら慎重に検討する必要がある。

共産党 **野々村博美**

問 外国由来の子どもたちへの日本



もんぜんぶら座3階の長野市国際交流コーナーで開催されている日本語教室

語指導について、現状と課題は

教育次長 日本語指導教室は、小・中学校各四校に八教室設置。それ以外の学校にも二十四人が在籍し、十七名の巡回指導員等を派遣している。課題は多様な言語に対応できる巡回指導員の確保が難しいこと。指導教室の増設を県に要望していく。

問 劣悪な労働環境が社会問題となつた外国人技能実習生は、長野市にも昨年末時点で四百八十九人いる。外国人の生活相談の件数は。また、相談は商工労働課で受けるべきでは

商工観光部長 昨年度の相談件数は

一千五百六十三件で、このうち雇用・労働に関するものは九十八件。言葉の問題もあり国際交流コーナーが

窓口となっている。観光振興課と商工労働課で連携して対応していく。

新友会 **松田 光平**

問 長野市は今年度中のワイン特区取得を表明したが進捗はどうか。既にワイナリー開設が具体化しているが、特区取得の広報や地域経済循環のためワインの需要拡大を図るなど、特区効果を最大限に生かす仕組みづくりが必要。企画政策部や商工観光部と連携し、どうPRするのか

農林部長 ワイナリー開設を計画する生産者、県や県内先行自治体へのヒアリングを行い、今後、申請手続きに移行する。本市の特区認定は農



標高650mほどの斜面に広がるワイン用ぶどう畑

業従事者へワイン用ぶどうの栽培を推奨する後押しとなることから、酒類の流通・販売事業者に加え、消費者にも広く周知していく。

問 大工さん育成に森林環境譲与税は使えないとの答弁だったが、森林から切り出して製材し、材木を加工して建築する養成所「お山の大学校」ならば、大工さん育成に森林環境譲与税が使えるのではないか

農林部長 お山の大学校として林業人材と大工さんの養成を図る企画は、本市の森林整備や木材利用の促進に貢献するならば、森林環境譲与税活用の可能性もある。一方、県に林業大学校があることから、県事業との重複を避け、児童・生徒に森林体験を提供する取り組みや大学校卒業後の就労支援等、人材の確保に努める。

市議会本会議は、市ホームページの「長野市議会」の議会議中継でご覧いただけます。常



任委員会は、録画でご覧いただけます。また、本会議及び各委員会の詳細については、ホームページの議事録検索でご覧いただけます。

(注) 6月定例会の本会議及び各委員会の議事録検索へのアップは、8月下旬以降順次行予定です。

審議結果については、3頁の審議結果一覧を併せて参照ください。

常任委員会のうごき

経済文教委員会

●プレミアム付き商品券事業について、市民が等しく恩恵を受けられるよう、販売方法に配慮することを要望した。

●公民館や交流センターの空調設備について、生涯学習の場であること、お年寄りも利用すること等から、早急に未設置の部屋への設置を検討するよう要望した。

●老朽化した長野運動公園総合体育館の建て替えと、フットボール場の新規整備について、長寿命化を踏まえた適切な予算の見積りと計画的な執行を行うよう要望した。

●浅川排水機場について、市民からは四つの排水機場を一体で管理したほうが分かりやすいとの意見がある。排水をより安全かつ効率的に行うためにも、排水機場の一体管理に向けて県との調整を進めるよう要望した。

●小・中学校十一校で長寿命化に係る改修を進めているが、雨漏り等早急に改修しなければならない施設が多く見受けられるため、引き続き積極的な改修を進めるよう要望した。

建設企業委員会

●都市計画道路の見直しについて、

廃止路線案に係る地元住民への説明はもとより、存続とした未整備の都市計画道路についても、市民の理解を得られるよう十分な説明を行うことを要望した。

●(仮称)ながのこども館について、完成後は様々な利用者が見込まれることから、年齢や障害の有無にかかわらず、安全性に配慮された遊具や使いやすい多目的トイレなど、施設を利用する市民の目線に立った整備を要望した。

●丹波島橋における渋滞対策については、荒木交差点の改良事業をはじめ、様々な取り組みが準備されている。今後、渋滞対策を進めるにあたり、市民に対し、目的と効果を分かりやすく説明し、その検証結果を報告するよう要望した。

●水道事業の広域化の検討について、県議会も含めた関係市町の議会相互の連携を図る必要があることから、研究、協議の機会を設定することを要望した。

総務委員会

●公共施設のユニバーサルデザイン、バリアフリー化について、公共施設の利用者は、それぞれ性別、年齢、障害の有無など様々であることから、

今後の公共施設の整備にあたっては、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、バリアフリー化の推進を図ることを要望した。

●長野市マリッジサポートデスクについて、出会いの場の創出や、多様なライフスタイルに合わせた婚活を応援するため、婚活イベントやセミナー等の情報提供をさらに充実させることを要望した。また、地区で実施している結婚相談や夢先案内人等との情報共有、連携を図ることについても併せて要望した。

●若者奨学金返還支援事業について、多くの方が利用できるよう十分に周知するとともに、必要に応じて認定条件等の見直しを行うなど、若者の定住につながる取り組みとなるよう要望した。

●請願第六号は、全員賛成で採択すべきものと決定した。

福祉環境委員会

●子育て世帯生活支援特別給付金について、今後同様の給付金を支給するときは、対象からわずかに外れてしまうような生活困窮世帯に対しては、市独自の配慮を要望した。

●市民税非課税世帯となった世帯への臨時特別給付金の支給については、

コロナ禍における原油価格や物価の高騰等に直面する生活困窮世帯への支援であることから、速やかに、かつ、正確に対象者へ給付金が行き届くよう要望した。また、非課税世帯が増加している状況を踏まえ、生活困窮世帯への支援策の一層の強化を図ることを検討するよう要望した。

●放課後子ども総合プラン事業の新たな運営主体設立にあたっては、雇用の充実を図ること、また、利用者である子どもが目線に立った受け入れ体制の充実することを要望した。

●児童館及び児童センターの今後の施設の整備については、体調不良等になった児童が一時的に休養できる居室の確保ができるよう要望した。



長沼小学校の敷地内に移転し、新築した長沼児童センター

特別委員会のうごき

公共交通対策調査研究 特別委員会

4月にぐるりん号を視察した。中心市街地・篠ノ井・東北の三コースに分かれて乗車し、利用状況や走行経路等について確認した。地域に密着した路線であることが感じられたが、利用の少ない区間があるなどの状況が共通認識となった。

6月の委員会では、本年度策定される長野市地域公共交通計画（案）について調査した。日常の移動に公共交通を利用してはいる市民は全体の七%弱で、今後も利用者が減少していくことが想定される中において公共交通を維持するには「少子・高齢化に対応した公共交通」に再整備した上で「市民の積極的な利用を促進する」という計画の基本的な考え方や、地域の特性を踏まえた今後の整備方針等について担当課の説明を受けた。市の地域公共交通の将来像を明らかにする重要な計画であるため、引き続き調査・研究を行う。

農林業振興対策 特別委員会

5月の管内視察では、七二会・中条地区においてワイン用ぶどうの栽培に取り組む生産者の方々と、ワイン特区の認定、ワインのブランド化、

経営の苦勞と安定等について意見交換を行った。市では年度内の特区申請を予定しており、今後の新たな特産品育成や地域活性化の可能性から、特区認定後の市内ワインの生産振興に期待するところである。

5月21日には十五名の参加（うちオンライン参加は五名）を得て、市民と議会の意見交換会を行い、市民から様々な意見をいただいた。

6月の委員会では、いただいた意見やこれまでの振り返りを中心に、自立できる農業、中山間地域の耕作放棄地対策、認定農業者、施策の展開、林業の担い手確保、森林整備等について質疑、要望を行った。今後も持続可能な農林業をめざして提言していく。

災害対策等調査研究 特別委員会

4月に戸隠地質化石博物館で、長野市の地形と、長い時間をかけて日本列島に起こった地殻変動と災害の関わりについて研究した。

5月に開催した市民と議会の意見交換会では「災害から自分たちの命を守るために」をテーマに、被災された方、ボランティア活動をされた方、復興に尽力された方など十八名の参加者から貴重な意見をいただいた。



戸隠地質化石博物館視察の様子

た。今後の研究につなげていきたい。

6月の委員会では、災害復興計画の進捗状況を確認した。令和元年東日本台風災害から間もなく三年が経過する中、復興した箇所、これから実施する箇所などの状況を調査した上で、被災者への相談体制の継続などを要望した。また、今年度の危機管理防災課の主な事業について説明を受け、見直しされる地域防災計画への令和元年東日本台風検証報告書の課題反映などについて調査した。

観光戦略調査研究 特別委員会

4月に開催した委員会では、観光に関するアンケート調査の結果を研究し、今後の委員会調査の材料にすることとした。

5月には市民と議会の意見交換会を開催し、参加した市民からいただいた意見について、今後の委員会で議論を深めるとともに、理事者に対し、要望していくこととした。また、新たに完成した「森の駅(Daizahoushi)」をはじめとした、飯綱高原エリアの観光施設を視察した。視察の振り返りでは、地場産商品の販売推進や大座法師池の活用等、より良い施設とするために協議した。

6月には松代地区において、体験型の人と触れ合うサイクリングツアーを視察した。視察の振り返りでは、「体験型のツアーは満足度が増す」、「ターゲットを練っていく必要がある」、「地元の知らないことが多くあった」という意見が出された。



松代地区「人と触れ合うサイクリングツアー」視察の様子

お詫び

議長 寺沢 さゆり

既に新聞、テレビ等で報道されておりますとおり、松木茂盛元長野市議会議員が公職選挙法違反の疑いで書類送検されました。

当該議員は長野市議会の信用を損ねたことを重くとらえ、6月1日付けで議員辞職願を提出し、議長においてこれを許可いたしました。

議会としては、今回の件は大変遺憾であり、市民の皆様への負託に応え、市政運営の一翼を担う議会を代表して、市民の皆様へ改めて、深くお詫び申し上げます。

今回の事態を真摯に受け止め、市議会としてより開かれた議会をめざし、市民の皆様への信頼回復に努めてまいります。

9月市議会定例会 会議予定

- 9月1日(休) 本会議(会期の決定/議案上程/決算議案上程)
- 2日(金)～6日(火) 休会
- 7日(水) 本会議(一般質問(個人))
- 8日(木) 本会議(一般質問(個人))
- 9日(金) 本会議(一般質問(個人)/議案質疑等/決算特別委員会の設置等)
- 決算特別委員会 前期全体会
- 10日(土)～11日(日) 休会
- 12日(月) 委員会(総務・経済文教)
- 13日(火) 委員会(福祉環境・建設企業)
- 14日(水) 決算特別委員会分科会(総務・経済文教)
- 15日(木) 決算特別委員会分科会(福祉環境・建設企業)
- 16日(金) 決算特別委員会分科会(総務・経済文教)
- 17日(土)～19日(月) 休会
- 20日(火) 決算特別委員会分科会(福祉環境・建設企業)
- 21日(水)～25日(日) 休会
- 26日(月) 決算特別委員会 後期全体会
- 27日(火) 本会議(採決)
- 28日(水) 本会議(議会人事)

- 日程案は変更となることがあります。
- 「請願」「陳情」を希望する人は開会日までに提出してください。
- 傍聴は開催当日、次のところで受け付けます。マスクの着用をお願いします。
 - ・本会議…第一庁舎8階(傍聴席入口)
 - ・委員会…第一庁舎7階(議会事務局)
- 乳幼児一時預かりサービスは、利用を希望する対象保育所等へ直接お申し込みください。手話通訳及び要約筆記サービスは、傍聴希望日の3日前までに議会事務局へお申し込みください。(いずれも無料)

編集委員

- 委員長 松井 英雄
- 副委員長 井筒 篤
- 委員 箱山 正一
- 委員 小泉 一真
- 委員 佐藤 久美子
- 委員 東方 みゆき
- 委員 加藤 英夫
- 委員 和田 一成

昨年から続く物価高騰に、ロシアのウクライナ侵略などの影響が拍車をかけ、エネルギーや食料品の価格が急騰しています。6月定例会では、国の総合緊急対策の給付金、落ち込む市内経済の活性化と消費拡大へ、レミアム付き商品券事業の拡大などを市民の暮らしに直結する補正予算を可決しました。コロナ禍で傷んだ市内経済と市民の暮らしを回復し、守っていくため、市議会は全力で取り組んでいきます。

令和4年度 市民と議会の意見交換会を開きました

4回目の開催となった今年度の「市民と議会の意見交換会」は、コロナ禍で3年ぶりの開催となりました。感染症対策でオンライン方式を初めて導入し、会場での参加が困難な方やこれまで参加したことのなかった方など、多くの方にご参加いただきました。

特別委員会ごとにテーマを決めて意見交換会形式とし、参加者からのご意見等を、市政に反映させていくことに重きをおいた運営としています。

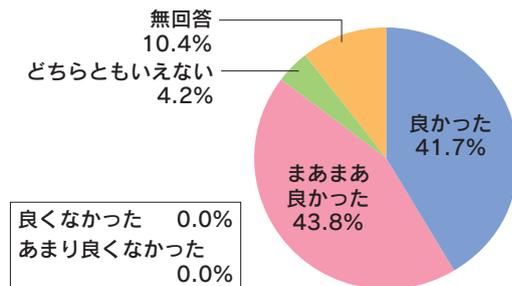
詳しくは、「報告書」を市議会ホームページに掲載していますのでご参照ください。議会事務局でも配布しています。

テーマと参加者数

意見交換テーマ	会場参加者	オンライン参加者
持続可能な農林業を目指して ～農業の持つ魅力について・林産業を活性化して長野市の森を守る～	10	5
災害から自分たちの命を守るために ～適切な避難を考えよう～	15	3
善光寺御開帳後の観光誘客の取組とスポーツコンベンションの推進について	9	4
公共交通について ～あなたが利用できる公共交通とは～	5	1
合計	39	13

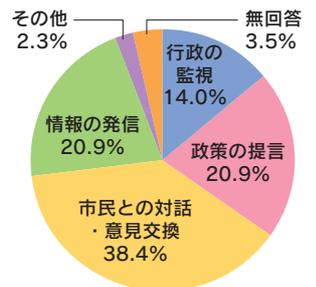
8割超の参加者が意見交換会を好評価

アンケート結果では、意見交換会について「良かった」が41.7%、「まあまあ良かった」が43.8%と、8割を超える参加者から好評価をいただきました。一方で「どちらともいえない」という回答も4.2%ありました。



これからの市議会に期待することは？

「市民との対話・意見交換」に期待する声が38.4%と最も多く、次いで「政策の提言」・「情報の発信」に期待する声が続いています。市民誰もが幸せに暮らせる市政の実現のため、今後も、より一層市民に開かれた議会づくりに取り組んでいきます。



※回答の構成比は小数第2位を四捨五入しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。



長野市議会

長野市議会ホームページ
<https://www.city.nagano.nagano.jp/site/gikai/>
 E-mail: gikai@city.nagano.lg.jp

検索

長野市議会事務局

〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地
 TEL: 224-5057 FAX: 224-5105